



## 2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 三菱鉛筆株式会社

コード番号 7976 URL <https://www.mpuni.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 数原 滋彦

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 蛇川 寿史 TEL 03-3458-6215

四半期報告書提出予定日 2020年8月6日 配当支払開始予定日 2020年9月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第2四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	26,982	△16.6	2,559	△44.8	2,761	△42.4	1,743	△46.2
2019年12月期第2四半期	32,371	3.5	4,639	△2.5	4,795	△2.2	3,244	△4.9

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 △211百万円 (-%) 2019年12月期第2四半期 2,474百万円 (35.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	31.03	—
2019年12月期第2四半期	56.76	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第2四半期	115,189	89,318	76.1	1,562.60
2019年12月期	118,644	90,849	75.2	1,581.60

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 87,698百万円 2019年12月期 89,194百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2020年12月期	—	15.50	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	15.50	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	△14.6	4,000	△44.5	4,300	△43.3	2,800	△36.9	49.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 2 Q	64,286,292株	2019年12月期	64,286,292株
② 期末自己株式数	2020年12月期 2 Q	8,162,988株	2019年12月期	7,891,212株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 2 Q	56,187,219株	2019年12月期 2 Q	57,149,669株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(注) 予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして実際の業績等は、様々な要因の変化などにより、予想とは異なる場合があることをご承知おき下さい。業績予想の前提となる条件等につきましては添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年6月30日まで）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の流行による外出規制や企業への休業要請等を背景に、企業活動や個人消費が制限され、極めて厳しい状況で推移いたしました。さらに、依然として感染リスクが残るなか、世界各国における外出や出入国制限、営業・生産活動への停止措置等の感染拡大防止策による国内外の経済への影響や金融資本市場の変動等の懸念から、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属しております筆記具業界におきましては、国内外の新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた各種対策により、国内においては新入学における販売動向やインバウンド需要等に大幅な影響がみられるとともに、新たな行動様式が求められるなか、インターネットを通じた流通の利用が広まり、市場環境は大きく変化しつつあります。

このような経営環境の中、当社グループはこれまでの勤務体制や行動様式を見直し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に最大限配慮しながら、「最高の品質こそ最大のサービス」という社是のもと、お客様が潜在的に抱えるニーズを具現化し、お客様の「かく（書く／描く）」行為に喜びや驚きといった彩りを添えることができるような商品開発に継続して取り組んでまいりました。世界で年間1億人以上販売されている油性ボールペン「ジェットストリーム」シリーズにおいて、トレンドカラーから日本の伝統色を選び、日本らしさとモダンさを兼ね備えた「ジェットストリーム 和モダンカラー」や、世界最小ボール径0.28mmを実現した「ジェットストリーム エッジ」から、鮮やかで個性的な限定軸色「ジェットストリーム エッジ アグレッシブカラー」を発売いたしました。また、“私らしい色づかいで、毎日を彩る”をコンセプトとする細字水性サインペン「EMOTT」から限定品5色セット“初夏”を発売いたしました。さらに、新型コロナウイルス感染症拡大による市場環境の変化に対応し、効率的かつ柔軟な生産体制の変更や、状況に応じためりはりのある営業活動の展開に努め、収益の減少幅を最小限にとどめられるよう当社グループ一丸となって取り組んでまいりました。

これらの活動の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は26,982百万円（前年同期比16.6%減）となりました。また営業利益は2,559百万円（前年同期比44.8%減）、経常利益は2,761百万円（前年同期比42.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,743百万円（前年同期比46.2%減）となりました。

セグメント別の業績を概観いたしますと、筆記具及び筆記具周辺商品事業におきましては、国内市場、海外市場ともに新型コロナウイルス感染症の影響により市場環境は大幅に悪化し、厳しい販売状況となりました。そのため、外部顧客への売上高は25,885百万円（前年同期比17.0%減）となりました。粘着テープ事業、手工芸品事業といったその他の事業におきましても、事業を取り巻く市場環境は依然として厳しく、外部顧客への売上高は1,096百万円（前年同期比8.7%減）となりました。

なお、上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産に関する分析

当第2四半期連結会計期間末の資産は、主にたな卸資産や有形固定資産が増加したものの、受取手形及び売掛金や投資有価証券が減少したことにより、前連結会計年度末に比べて3,455百万円減少し115,189百万円となりました。

負債は、主に支払手形及び買掛金やその他固定負債が減少したことにより前連結会計年度末に比べて1,925百万円減少し25,870百万円となりました。

純資産は、主に利益剰余金が増加したものの、その他有価証券評価差額金が減少し、自己株式が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて1,530百万円減少し89,318百万円となりました。

## キャッシュ・フローに関する分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて1,357百万円減少し44,541百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、主に税金等調整前四半期純利益2,489百万円、減価償却費1,137百万円、売上債権の減少による資金の増加2,106百万円に対し、たな卸資産の増加による資金の減少1,877百万円により合計で2,682百万円（前年同期比4,968百万円の収入の減少）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は、主に固定資産の取得による支出2,294百万円により、合計で2,120百万円（前年同期比733百万円の支出の増加）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は、主に配当金の支払額840百万円、自己株式の取得による支出451百万円、長期借入金の返済による支出360百万円により、合計で1,728百万円（前年同期比29百万円の支出の減少）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の事業への影響を当社が現在入手している情報を合理的に勘案し、2020年4月23日に公表いたしました連結業績予想を2020年7月30日公表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり修正しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	46,184	45,006
受取手形及び売掛金	16,671	14,405
たな卸資産	16,217	17,958
その他	1,800	1,286
貸倒引当金	△1,591	△1,753
流動資産合計	79,283	76,903
固定資産		
有形固定資産	21,681	23,074
無形固定資産	1,512	1,362
投資その他の資産		
投資有価証券	14,533	12,180
その他	1,634	1,668
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	16,167	13,849
固定資産合計	39,361	38,285
資産合計	118,644	115,189

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,149	7,581
短期借入金	2,502	2,481
未払法人税等	1,085	900
賞与引当金	540	424
返品引当金	218	37
その他	5,140	5,277
流動負債合計	17,636	16,703
固定負債		
長期借入金	4,738	4,378
退職給付に係る負債	3,774	3,810
役員退職慰労引当金	103	107
その他	1,541	869
固定負債合計	10,158	9,166
負債合計	27,795	25,870
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,497	4,497
資本剰余金	3,721	3,725
利益剰余金	81,718	82,621
自己株式	△6,330	△6,764
株主資本合計	83,606	84,080
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,002	3,337
為替換算調整勘定	573	259
退職給付に係る調整累計額	11	21
その他の包括利益累計額合計	5,587	3,617
非支配株主持分	1,654	1,620
純資産合計	90,849	89,318
負債純資産合計	118,644	115,189

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	32,371	26,982
売上原価	16,164	13,295
売上総利益	16,206	13,686
販売費及び一般管理費	11,567	11,127
営業利益	4,639	2,559
営業外収益		
受取利息	10	9
受取配当金	174	156
受取地代家賃	36	31
受取保険金	21	51
その他	30	58
営業外収益合計	272	306
営業外費用		
支払利息	19	20
為替差損	28	16
シンジケートローン手数料	19	19
売上割引	30	33
その他	19	13
営業外費用合計	117	103
経常利益	4,795	2,761
特別利益		
固定資産売却益	4	190
特別利益合計	4	190
特別損失		
固定資産除売却損	3	3
投資有価証券売却損	50	—
工場再編損失	101	262
代理店契約解約損	—	197
特別損失合計	155	463
税金等調整前四半期純利益	4,644	2,489
法人税等	1,282	692
四半期純利益	3,362	1,797
非支配株主に帰属する四半期純利益	118	53
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,244	1,743

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	3,362	1,797
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△390	△1,665
為替換算調整勘定	△491	△352
退職給付に係る調整額	△5	9
その他の包括利益合計	△887	△2,008
四半期包括利益	2,474	△211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,408	△226
非支配株主に係る四半期包括利益	66	14

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,644	2,489
減価償却費	1,070	1,137
貸倒引当金の増減額(△は減少)	124	180
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	78	27
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△1	73
受取利息及び受取配当金	△185	△165
支払利息	19	20
為替差損益(△は益)	△4	6
固定資産除売却損益(△は益)	△1	△187
投資有価証券売却損益(△は益)	50	—
代理店契約解約損	—	197
売上債権の増減額(△は増加)	1,768	2,106
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,174	△1,877
仕入債務の増減額(△は減少)	△708	△546
未収消費税等の増減額(△は増加)	1,039	175
その他	△664	20
小計	8,405	3,658
利息及び配当金の受取額	185	165
利息の支払額	△19	△20
代理店契約解約金の支払額	—	△149
本社移転費用の支払額	△74	—
法人税等の支払額	△846	△972
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,650	2,682
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△1,361	△2,294
固定資産の売却による収入	8	201
投資有価証券の取得による支出	△1	△27
投資有価証券の売却による収入	26	—
定期預金の預入による支出	△34	△57
定期預金の払戻による収入	—	—
その他	△25	57
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,387	△2,120
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△168	△21
長期借入金の返済による支出	△360	△360
自己株式の取得による支出	△313	△451
配当金の支払額	△853	△840
非支配株主への配当金の支払額	△61	△48
その他	△0	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,758	△1,728
現金及び現金同等物に係る換算差額	△254	△190
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,250	△1,357
現金及び現金同等物の期首残高	42,704	45,899
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,955	44,541

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	31,170	1,201	32,371	—	32,371
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	14	20	△20	—
計	31,176	1,215	32,391	△20	32,371
セグメント利益	4,592	37	4,630	9	4,639

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## II 当第2四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	25,885	1,096	26,982	—	26,982
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	17	19	△19	—
計	25,887	1,114	27,001	△19	26,982
セグメント利益	2,534	14	2,549	9	2,559

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。